福岡県教育委員会・大韓民国国立文化遺産研究院文化交流事業40周年記念
令和８年度 九州国立博物館「大宰府学研究」事業シンポジウム

고대 한일 문화 교류사

古代 倭と韓の交流を探る

古代日韓文化交流史

令和8年
12月19日(土) 10時～16時40分

九州国立博物館（1階ミュージアムホール）
太宰府市石坂4-7-2

定員 270名 入場料無料 参加申込不要（当日先着順）
※座席に限りがあるため、入場をお断りする場合があります。

主催 九州国立博物館 福岡県・福岡県教育委員会 大韓民国国立文化遺産研究院



福岡県は古くから対外交流の窓口として、日本の歴史上、重要な役割を担ってきました。県内には韓国から影響を受けた文化財が多く、本県の歴史・文化を理解する上で、日韓文化交流の実態を知ることは重要です。

今回のシンポジウムでは、九州国立博物館、福岡県・福岡県教育委員会、大韓民国国立文化遺産研究院が40年にわたり蓄積してきた文化交流事業の成果をもとに、最新の日韓文化交流史像にアプローチします。

日　程

【開　場】10:00

10:15~10:35　【開会行事】

10:35~11:15　**【記念講演①】重藤輝行**(佐賀大学教授)**「3～7世紀の九州北部の渡来人」**

11:15~12:35　**【記念講演②】李恩碩**(イ・ウンソク)(大韓民国国立海洋遺産研究所長)
「8～13世紀の韓日交流史-温石を中心に-」
(日本語通訳:古澤義久(福岡大学教授))

12:35~13:45　休憩

13:45~14:05　**【報告①】下原幸裕**(九州歴史資料館)**「5～7世紀の古墳からみた対外交流」**

14:05~14:55　**【報告②】田庸昊**(チョン・ヨンホ)(大韓民国国家遺産庁遺跡発掘課学芸研究官)
「百済王都益山と大宰府の古代都市構造と文化相の比較研究」
(日本語通訳:比嘉えりか(福岡市経済観光文化局))

14:55~15:10　休憩

15:10~15:30　**【報告③】大庭孝夫**(福岡県教育委員会)**「海をめぐる弥生時代の交流」**

15:30~16:20　**【報告④】張誠允**(チャン・ソンユン)(大韓民国国立文化遺産研究院保存科学研究室学芸研究官)
「新石器時代の韓日繊維質土器の材料的特性比較」
(日本語通訳:古澤義久(福岡大学教授))

16:20~16:30　【総評】小池史哲(元九州考古学会会長、元福岡県教育委員会)

16:30~16:40　【閉会行事】

※韓国側の報告には、逐次通訳が入ります。
※天候や状況によって内容に変更が生じる場合があります。

問い合わせ先

・シンポジウムの内容に関すること
福岡県教育庁教育総務部文化財保護課
TEL.092-643-3876

文化財保護課ＨＰ

・会場に関すること
九州国立博物館
ハローダイヤル 050-5542-8600
(午前９時～午後８時／年中無休)
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

九博HP

会場へのアクセス

□最寄り駅
西鉄太宰府駅から徒歩約10分

□最寄り駅へのアクセス
【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で
西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で西鉄太宰府駅下車

□車
【九州自動車道】太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分
【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分
駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。



KYUSHU NATIONAL MUSEUM
九州国立博物館

ー太宰府天満宮横ー
〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
ハローダイヤル 050-5542-8600
(午前9時～午後8時／年中無休)
www.kyuhaku.jp